

在宅医療について

□調査期間

令和8年8月24日～8月30日

□調査の趣旨

令和5年度の市政世論調査、令和6年度のインターネットモニター調査では、在宅医療の認知度はそれぞれ69.5%、77.5%、人生の最終段階における医療・ケアについて本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み(ACP)の認知度はそれぞれ10.4%、19.5%でした。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケア等を自分で決めたり、希望を人に伝えたりすることができなくなると言われています。自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを市民一人ひとりが前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

この度、インターネットモニター制度を活用し、市民自らが人生の最終段階の医療や介護をどのように受けたいか、市民の意識を把握します。そして、市民の意識と現状の差を埋める取り組み(医療・介護連携事業)につなげます。

□対象者数

1,622 人(令和8年8月24日現在)

□回答者数

935 人

□回答率

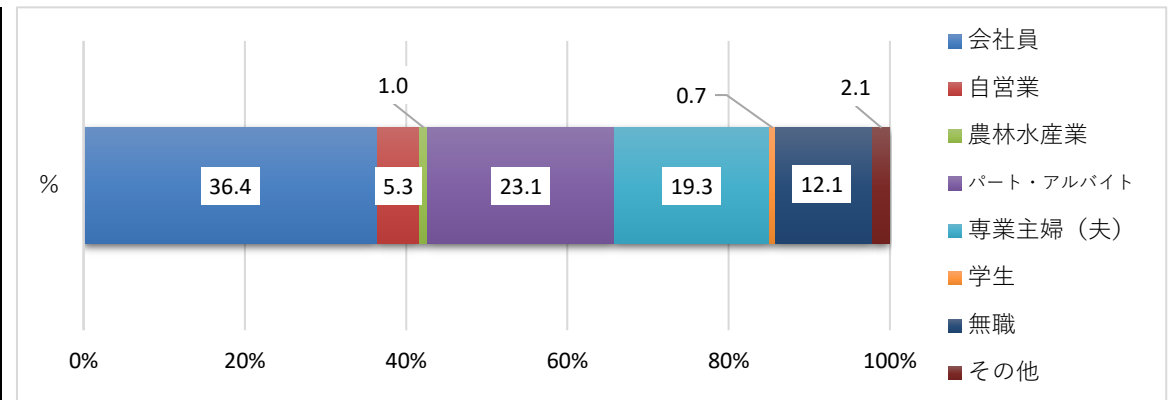
57.6 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

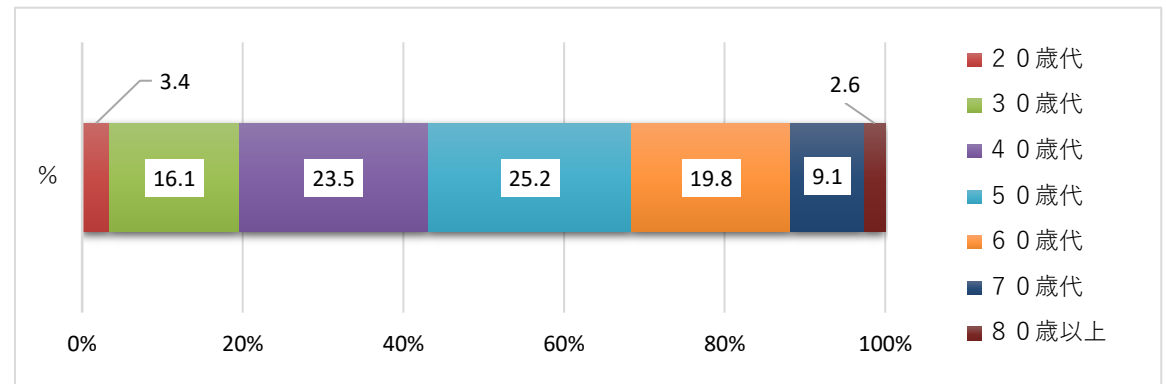
【職業】

内訳	人数	%
会社員	340	36.4
自営業	50	5.3
農林水産業	9	1.0
パート・アルバイト	216	23.1
専業主婦(夫)	180	19.3
学生	7	0.7
無職	113	12.1
その他	20	2.1
合計	935	100.0



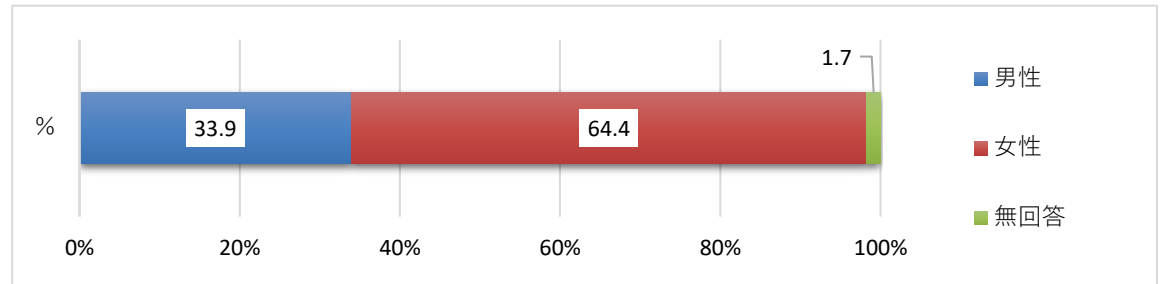
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	2	0.2
20歳代	32	3.4
30歳代	151	16.1
40歳代	220	23.5
50歳代	236	25.2
60歳代	185	19.8
70歳代	85	9.1
80歳以上	24	2.6
合計	935	99.9



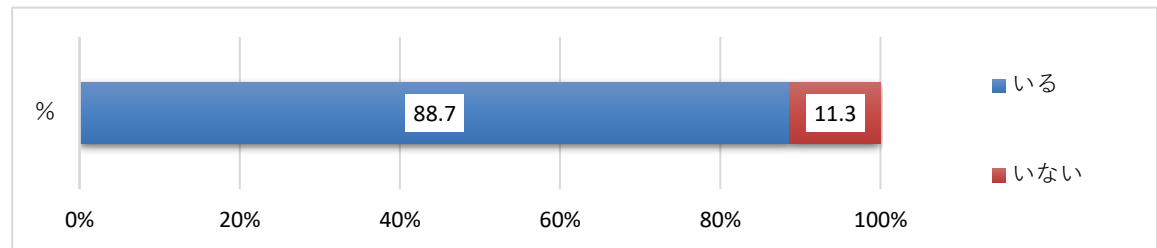
【性別】

内訳	人数	%
男性	317	33.9
女性	602	64.4
無回答	16	1.7
合計	935	100.0



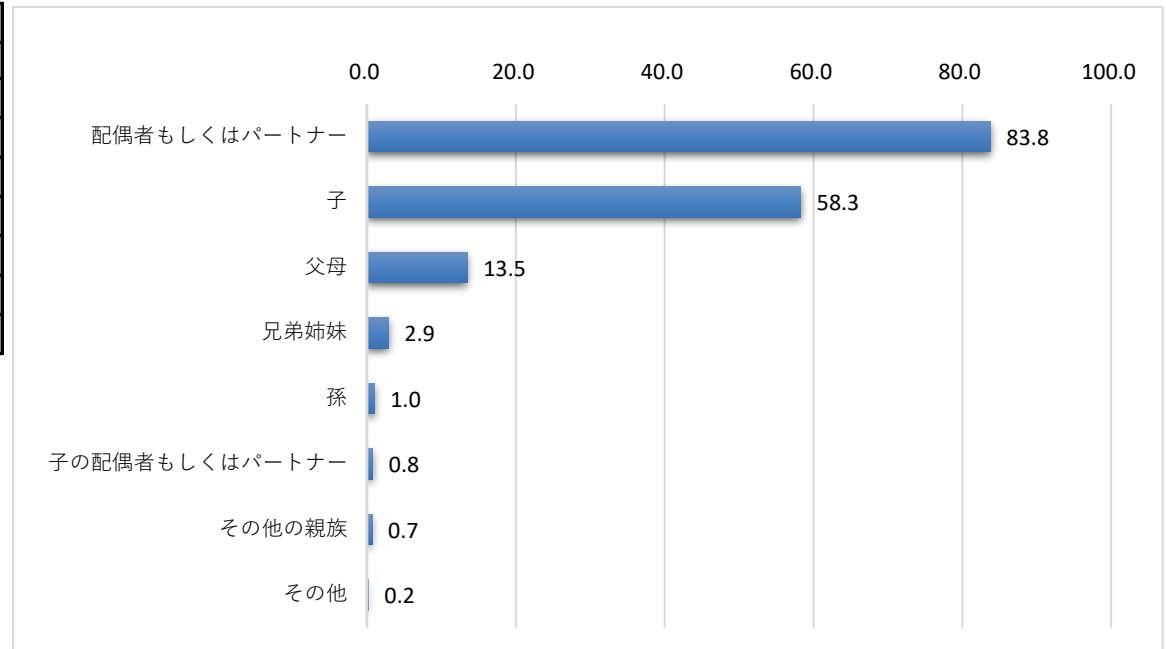
【同居人の有無】

内訳	人数	%
いる	829	88.7
いない	106	11.3
合計	935	100.0



【同居人が「いる」を選択された方に伺います。同居している人との関係性を教えてください。(あてはまるもの全て選択)】

内訳	人数	%
配偶者もしくはパートナー	695	83.8
子	483	58.3
父母	112	13.5
兄弟姉妹	24	2.9
孫	8	1.0
子の配偶者もしくはパートナー	7	0.8
その他の親族	6	0.7
その他	2	0.2

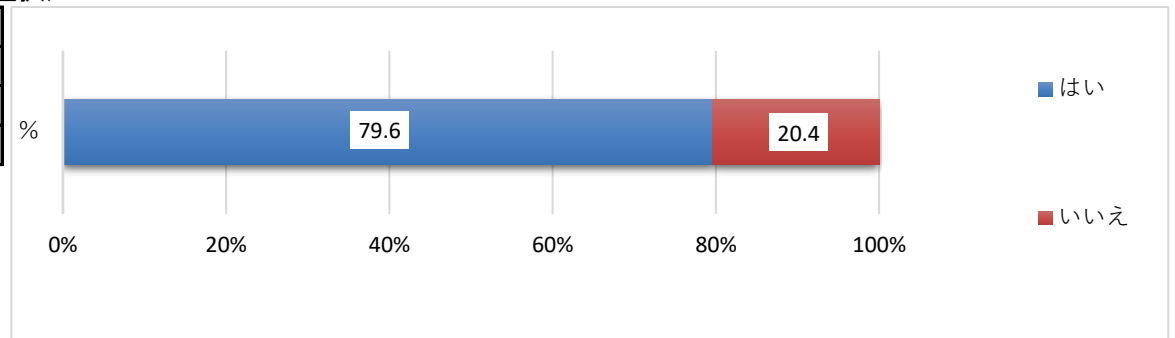


【その他(対象2人)】

- ☐ 妹の旦那と子ども
- ☐ 知人

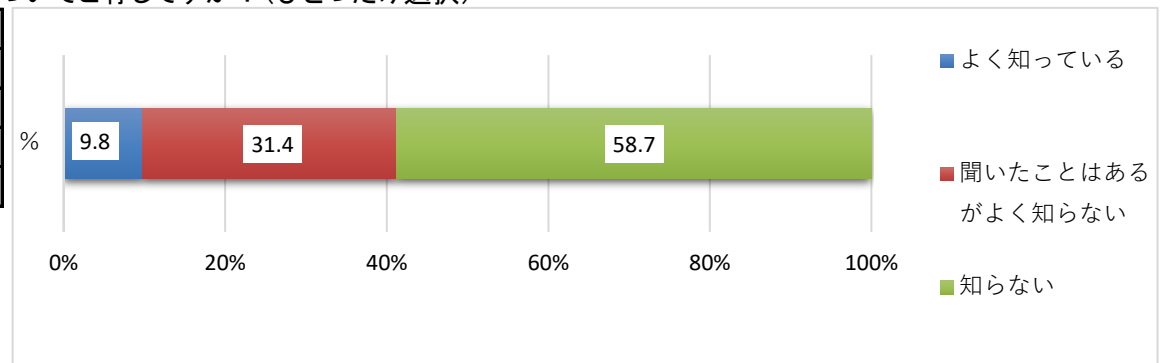
【Q2】あなたは、在宅医療についてご存じですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
はい	744	79.6
いいえ	191	20.4
合計	935	100.0



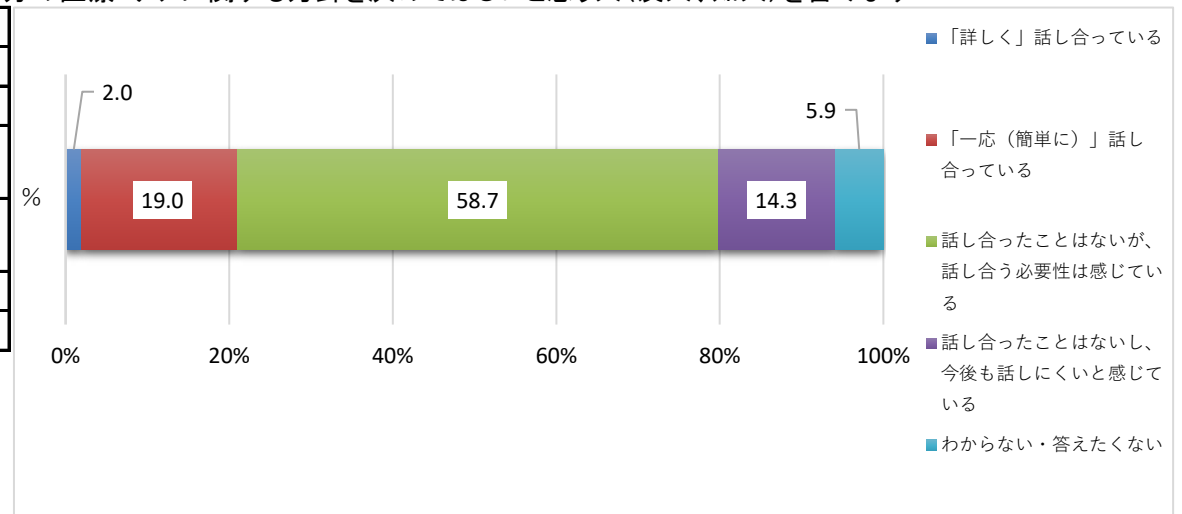
【Q3】あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称:人生会議)」についてご存じですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
よく知っている	92	9.8
聞いたことはあるがよく知らない	294	31.4
知らない	549	58.7
合計	935	99.9



【Q4】あなたが人生の最終段階で受たいもしくは受たくない医療・ケアについて、ご家族等や医療・介護従事者と話し合ったことはありますか？（ひとつだけ選択）※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・ケアに関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます

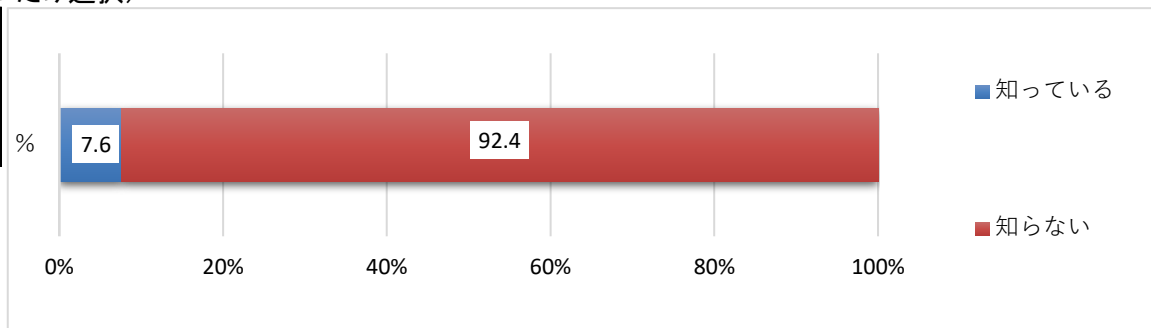
内訳	人数	%
「詳しく」話し合っている	19	2.0
「一応（簡単に）」話し合っている	178	19.0
話し合ったことはないが、話し合う必要性は感じている	549	58.7
話し合ったことはないし、今後も話しにくいと感じている	134	14.3
わからない・答えたくない	55	5.9
合計	935	99.9



和歌山市では人生会議のツールの一つとして、「わたしの在り方ノート」を発行しています。
「わたしの在り方ノート」はこちら(PDF)

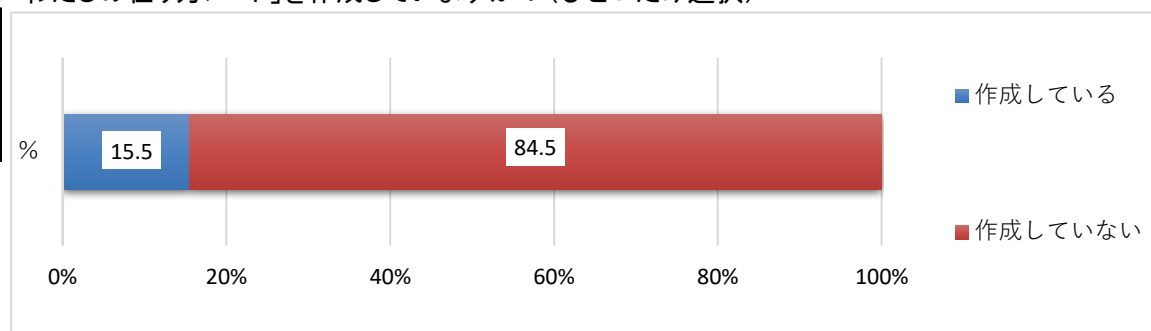
【Q6】あなたは、「わたしの在り方ノート」をご存じですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
知っている	71	7.6
知らない	864	92.4
合計	935	100.0



【Q7】Q6で「知っている」と回答した方にお聞きます。あなたは、「わたしの在り方ノート」を作成していますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
作成している	11	15.5
作成していない	60	84.5
合計	71	100.0



お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。
皆さまからいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、本市の在宅医療・介護連携推進事業に関する施策を推進してまいります。
回答結果につきましては、介護保険事業計画や医療計画を策定する上での指標としても活用させていただき、市民自らが人生の最終段階の医療や介護をどのように受けたいかについての施策の検討につなげていきたいと考えています。
今後ともご理解とご協力いただきますようお願いいたします。